

公務員という安定職から旅立ち、独立・起業の道を選んだ野寄聖統さん。世の中に価値あるものを提供することで、多くの人に喜んでもらえることを実感。「コ罗纳禍の現在も、社名の「おおきに」の精神を大切に、成果を生み出し歩み続けている。



社長 野寄 聖統さん  
（株）おおきに  
のよりまさのり

## 人に優しく、自分にはおもしろく

兵庫県明石市出身の野寄は医療系（看護師）の公務員として神奈川県横浜須賀野市で勤務していたが、「起業して自分の可能性にチャレンジしたい」と離職し、地元に戻った。以来、大手スポーツ併設の接骨院の副院長として勤務。さらに「ステップアップしたい」と海外から文献も取り寄せて独学でアロマやハーブを勉強しスクールのインストラクターも務めた。

野寄は「心も身体も苦痛を伴わず癒やすことを理想とした」と多店舗化し、オーガニックのハーブティーや玄米ペースクのハーブティーとしたカフェバー、オーガニックギフト

のアルバイトを掛け持ちして3年間で起業資金をつくって「アロマセラピーやハーブを扱う会社を設立。」

ショップ、国産原料を使ったパン店、和スイーツを提供する憩いの茶屋と事業活動の幅を広げている。ただ、独立してからは健康に関しては一流の職人だった野寄も集客方法など経営の勉強はしていなかった。

「仕事で人間力ができます。私自身、仕事を通して人間力を一歩一歩上げていきたい。仕事は作業ではなく、その先にある結果・成果を創ります」と

「この経験を生かして独立するために」24時間、あらゆる職種

「助言者として信頼できる経営者を紹介していただき、一から経営のいろはを学び、今も勉強中です」と4店舗を経営する社長になっても謙虚さを忘れない。「やはり技術や知識だけでなく、それを生かす人間性を磨くことも大切でした。魅力的な人になれば自分を慕って人が集まりチームが組めます」。

27歳から育ての親と慕う経営者からはさまざまな課題をもら

「仕事への情熱も目的目標が明確で野寄にとってそれが価値あるものであれば、「大好きな人」を思うくらいに寝ても覚めても四十六時中、そのことに取り組みむことができる。自分自身で描いたものを大事にしよう、と言いたいですね」

創意工夫することで、自分自身を大きく成長させてきた野寄。彼には仕事は人生そのもので生涯現役がよく似合う。

「独立以来、経営者として」

「独立以来、経営者として」

「独立以来、経営者として」

「独立以来、経営者として」

「独立以来、経営者として」

株式会社おおきに 大阪市北区大淀南1-9-19エンバイアービル4F

①オーガニックギフトショップ【ありがとう市場】②国産原料を使った身体喜ぶパン【じゃぱん】③喜ぶ溢れる楽しいカフェ&バー【waioli・ワイオリ】④和スイーツを提供する憩いの茶屋【たい焼き甘味処 おめでたい】の4店舗を運営

